

令和2年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

大和市 環境管理センター
収集業務課 資源循環係

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	2
1. 補助制度について	
1). 補助制度の周知等について	
2). 補助率・補助金額について	
2. 機器について	
1). 機器の購入と補助制度について	
2). 利用している世帯数と年齢層について	
3). 機器の利用について	3
III. アンケート結果分析	4
1. 機器の利用と減容率の関係	
2. 置き場所と臭いや音の関係	
3. J E M A [日本電機工業会] 資料	5
IV. 各設問ごと結果	6
V. 自由記入欄一覧	10
1. 補助制度について	
2. 機器の使用について	

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

- ・ 調査期間 令和2年10月23日～11月13日
- ・ 調査対象者 平成27年度の電動式生ごみ処理機購入補助利用者(72人)
(転出等によりアンケートが不着となった件数を除く)
- ・ 調査方法 郵送調査、無記名方式
- ・ 調査内容 使用者について(世帯人数、利用者年代)
使用状況について(利用頻度、減量効果)
生成物について(活用方法、拠点回収場所の利用)
制度について(周知方法、購入動機、満足度や意見)
- ・ 回答者数 40人
- ・ 回答率 55%

II. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「IV. 各設問の結果」及び「V. 自由記入欄一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

1). 補助制度の周知等について

補助制度を知った方法については、「広報やまと」が一番多く 19 人でした。その他の市の媒体では、「市ホームページ」が 8 人、「資源とごみのパンフレット(市配布)」が 5 人という結果でした。一方で、「販売店等の宣伝」が 8 人、「口コミ」が 4 人、と市の周知以外で補助制度を知ったという方も多くみられました。

2). 補助率・補助金額について

補助率の満足度について、「満足」と回答した方は 37 人中 30 人、補助金額の満足度について、「満足」と回答した方は 37 人中 29 人でした。
お手持ちの電動式生ごみ処理機の購入後 5 年が経過した場合、もう一度電動式生ごみ処理機を購入されますか」という質問に対し、一番多かった回答は「現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う」の 44%でした。

2. 機器について

1). 機器の購入と補助制度について

電動式生ごみ処理機を購入した動機(複数回答)について「補助制度があるため」を挙げた方は 22 人で、「ごみを減量化したい」を挙げた 37 人に次いで多くいました。

また、制度に関して、自由記入欄にて、

生ごみの量がかなり減るのでだいぶ役立っています。高価なものなので補助金があることもとても助かっています。補助金があっても出るなら購入したいですが、補助の金額によっては購入に迷う場合もあるかもです。

等の回答がありました。

2). 利用している世帯数と年齢層について

機器を利用している世帯数は「4人」・「3人」がともに 33%で最も多く、続いて「2人」が 30%、となっており、2～4人世帯が全体の 95%を占めました。

主に使用している年齢層は「50代」が 32%と最も多く、続いて「40代」が 22%、「60代」が 20%という結果でした。

また、機器に関して、自由記入欄にて、

今までカラスを気にしたり、数日家を空けると生ごみの臭いが気になっていましたが、ごみ処理機のおかげで全く気にしないで過ごせるようになり、大変満足しています。もっと普及しても良いのに…と思っています。毎日使っているのに徐々に音が大きくなり、多少臭いも

気になり始めました。補助制度が使える時期のようなので、購入の方向で考えていきたいと
思います。
等の回答がありました。

3). 機器の利用について

利用状況は、「毎日」と回答した方が全体の80%を占めました。
減容量については、「約1/4」が49%で最も多く、次いで「約1/3」が20%でした。
置き場所については、「キッチン」が63%でした。
今回初めての設問で、投入しないものについては、「鶏肉の骨」が20人・「魚の骨」が9人のほ
か、「貝殻類」を挙げた人が9人、「柑橘系の皮」が3人でした。

Ⅲ. アンケート結果分析

ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」の順に多く、その方々の減容率は「約1/4」「約1/3」の順に多いという回答が多くありました。

		減容率				
		約 1/2	約 1/3	約 1/4	その他	計
利用頻度	毎日利用している	16%	19%	53%	0%	88%
	週に1、2回	0%	6%	3%	0%	9%
	月に1、2回	3%	0%	0%	0%	3%
	年に数回	0%	0%	0%	0%	0%
	使っていない	0%	0%	0%	0%	0%
	故障して使えない	0%	0%	0%	0%	0%
	その他	0%	0%	0%	0%	0%
	計	19%	25%	56%	0%	100%

2. 置き場所と臭いや音の関係

置き場所と臭いや音との相関を見てみました。

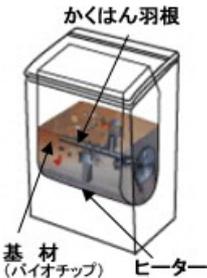
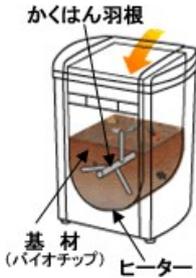
キッチンに置いているが、気にならないという回答が多くありました。

置き場所		キッチン	キッチン以外の室内	ベランダや勝手口等の屋外
臭い	ほとんど（まったく）臭わない	15%	0%	12%
	多少臭うが気にならない	32%	9%	3%
	多少臭いが気になる	21%	3%	3%
	かなり臭いが気になる	0%	0%	3%
音	ほとんど（まったく）音がしない	3%	0%	9%
	多少音がするが気にならない	57%	11%	11%
	多少音がして気になる	9%	0%	0%
	かなり音が気になる	2%	0%	0%

※参考

電動式生ごみ処理機の3つのタイプについて(参照: J E M A [日本電機工業会])

<http://jema-net.or.jp/Japanese/ha/gomi/about.html>

	乾燥式	バイオ式	ハイブリッド式
原理	生ごみの水分を飛ばすことで減容化する。	基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。	微生物が活動しやすい環境を整えた上で、基材と混ぜた生ごみを微生物に食べさせて減容化する。
減容能力	約1/7	約1/10	約1/10
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・本体が比較的コンパクトな形にできる ・手間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・減容化能力が高い ・堆肥が生成できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・減容化能力が高い ・堆肥が生成できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・電気代がかかる ・堆肥は生成できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の環境を整えるのが難しい ・基材の代金がかかる ・水分量調節のための木材チップ等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の環境を整えるのが難しい ・基材の代金がかかる
主な構造	 <p>ヒーター かくはん羽根</p>	 <p>かくはん羽根 基材 (バイオチップ) ヒーター</p>	 <p>かくはん羽根 基材 (バイオチップ) ヒーター</p>

- 分別して入れる
投入できるものとできないものがあります。あらかじめ必ず分別しましょう。
- 小さく、短く、ほぐして入れる
かぼちゃなど硬くて大きいものは小さく、果物の皮、ねぎなどの繊維質の長いものは短く、だんご状のものはほぐして入れましょう。かくはん羽根への巻き付き防止になります。
- よく水切りする
生ごみの水分を十分に切ってから入れましょう。乾燥式の場合、処理時間が短縮されます。また、バイオ式やハイブリッド式の場合、基材やチップのべたつきやにおいを抑えます。
- 入れすぎない
投入量は取扱説明書に従い入れましょう。規定量をこえると、分解不良を起こしにおいの原因になります。また小分けにして投入すると分解しやすくなります。
- においの強いものは量を減らす
魚やイカのあら、でんぷん質、かんきつ類、水分の多いものなど、入れすぎるとにおいが強くなるものは投入量を減らしましょう。

※ J E M A では、家庭用電気生ごみ処理機の自治体の助成金についても調査結果が公表されていますが、この調査は 2015 年度をもって実施しておりません。

IV. 各設問の結果

ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度」を「補助制度」、「電動式生ごみ処理機」を「機器」と略しています。「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきます。また「無回答」や「複数回答」により、回答合計は一致しません。割合は四捨五入しています。

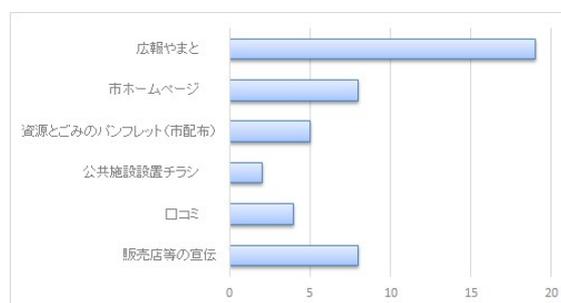
問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか

回答

販売店等の宣伝	8
口コミ	4
公共施設設置チラシ	2
資源とごみのパンフレット（市配布）	5
市ホームページ	8
広報やまと	19

その他)

HP だったか広報やまとだったか忘れた
使用している友達から聞いて



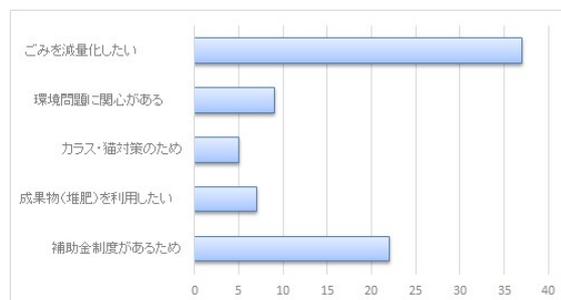
問2. 電動式生ごみ処理機（以下「機器」と言います）を購入した動機は、どのような理由からですか

回答

補助金制度があるため	22
成果物（堆肥）を利用したい	7
カラス・猫対策のため	5
環境問題に関心がある	9
ごみを減量化したい	37

その他)

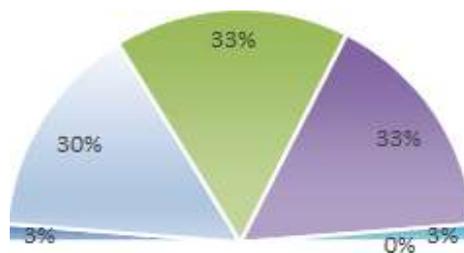
生ごみにくる虫や生ごみのおいがいやだった
生ごみの臭いが気になるので



問3. 機器を利用している世帯人数を教えてください

回答

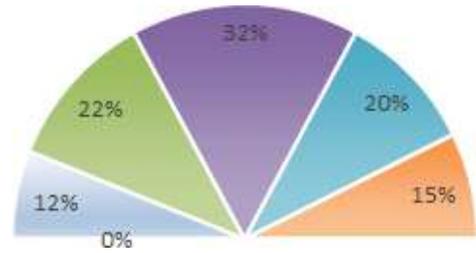
1人	1
2人	12
3人	13
4人	13
5人	1
6人以上	0



問4. 機器を主に利用されている方の年齢層を教えてください

回答

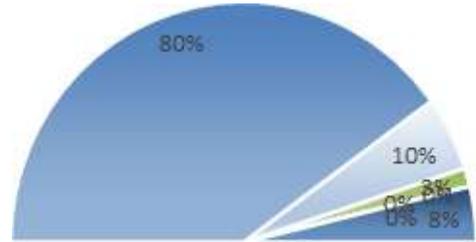
20代以下	0
30代	5
40代	9
50代	13
60代	8
70代以上	6



問5. 機器の利用頻度はどのくらいですか

回答

毎日利用している	32
週に1、2回	4
月に1、2回	1
年に数回	0
使っていない	0
故障して使えない	0
その他	3



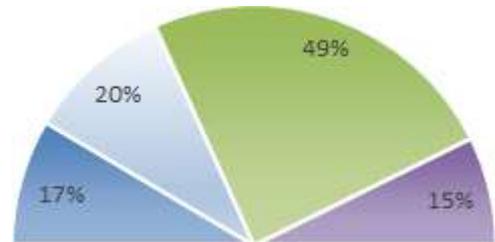
その他)

週に3,4,5回、週3-4回、週に4回

問6. 機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

回答

約1/2	7
約1/3	8
約1/4	20
その他	6



その他)

使っていた時は1/2

ほとんどゼロ

問7. 機器を1週間利用した場合の、有料指定ごみ袋の使用前後の状況を教えてください

回答

使用前	使用后	
10l1袋	5l1袋	2
10l1袋 5l1袋	5l1袋	1
	10l1袋	1
10l2袋	5l2袋	3
20l1袋	5l1袋	1
	10l1袋	5
20l1袋 10l1袋	10l2袋	1
20l2袋	10l2袋	1
30l1袋	5l1袋	1
	10l1袋	1
	20l1袋	1

回答

使用前	使用后	
30l1袋 20l1袋	20l1袋 10l1袋	1
	20l2袋	1
30l2袋	10l1袋	1
	30l1袋	1
30l2袋 20l2袋	30l2袋	1
	40l1袋	5l1袋
40l1袋	10l1袋	2
	20l1袋	2
	30l1袋	2
40l1袋 20l1袋	40l1袋	1
有料化前から使用		2

問 8. 機器はどこに置いて利用していますか

回答

キッチン	25
キッチン以外の室内	4
ベランダや勝手口等の屋外	11

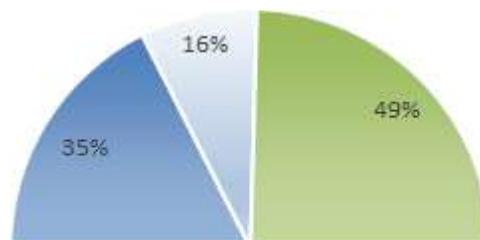


問 9. 例えば「鶏肉の骨」等、機器に投入しないようにしている生ごみがあれば教えてください

回答

鶏肉の骨	20
魚の骨	9
その他)	
貝類	9
柑橘系の皮	3
玉ねぎの皮	3
なし	6

お餅、種類、油物、卵の殻、他



問 10. 機器から出る臭いはどうですか

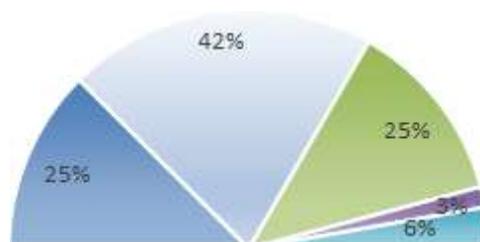
回答

ほとんど（まったく）臭わない	9
多少臭うが気にならない	15
多少臭いが気になる	9
かなり臭いが気になる	1
その他	2

その他)

外なので気にならない

夜間に使っている



問 11. 機器から出る音はどうですか

回答

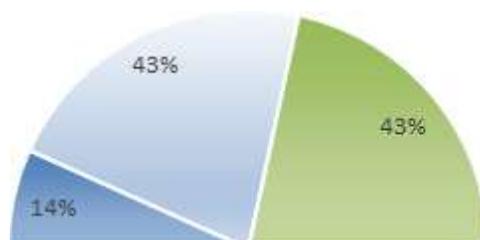
ほとんど（まったく）音がしない	4
多少音がするが気にならない	28
多少音がして気になる	3
かなり音が気になる	0
その他	2



問 12. 生成物（堆肥・乾燥物）を資源の拠点回収場所に出せることを知っていますか

回答

利用している	5
知っているが利用していない	16
知らない（この設問で知った）	16



問13. 機器の補助率（75%）についてどう思いましたか

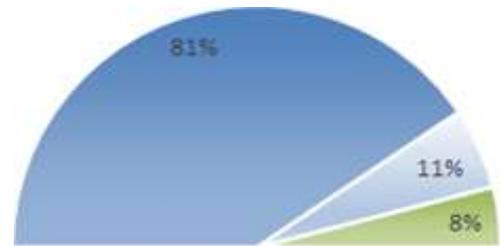
回答

満足	30
ふつう	4
その他	3

その他)

50%、100%

自治体補助があるのを前提に商品価格が
高く設定されて割引も無いように思う



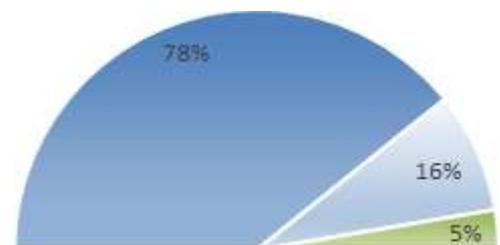
問14. 機器の補助金交付額（上限50,000円）についてどう思いましたか

回答

満足	29
ふつう	6
その他	2

その他)

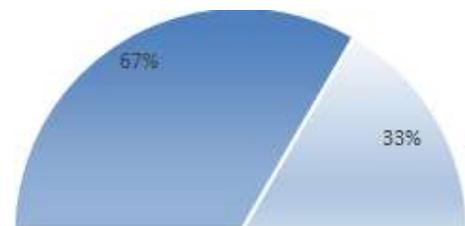
全額



問15. 補助制度は、制度利用後5年を経過すると再度利用できる（機器を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）ことを知っていますか

回答

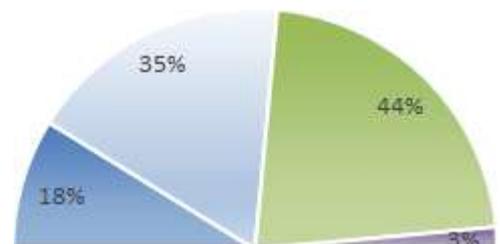
知っている	24
知らない（この設問で知った）	12



問16. お手持ちの機器の購入後5年が経過した場合、もう一度電動式生ゴミ処理機を購入されますか

回答

購入すると思う	6
補助金が出るのなら購入する	12
補助金額(率)が下がったら購入しない	15
購入しないと思う	1



V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、以下の編集を行いました。

- ・誤字等は修正しました。
- ・機種名等の固有名詞が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。

1. 補助制度について

- ・補助金制度は必ず継続してほしい。
- ・周りに知らない人が多いので、広報などでもっと周知した方が良いと思います。生ごみ処理機は高額なので具体的に金額などを掲示して、かなりの補助がある事を分かり易く説明したら良いかと思います。
- ・生ごみの量がかなり減るのでだいぶ役立っています。高価なものなので補助金があることもとても助かっています。補助金があっても出るなら購入したいですが、補助の金額によっては購入に迷う場合もあるかもです。
- ・補助制度は生ごみ減量に極めて有効。減量すればカラス対策にもなる。このため、予算の上限の撤廃又は引き上げを希望します。
- ・補助率は他の市町村に比べて高いほうだと思います。ずっと続けてください。
- ・一度使うと、こんなにもごみが減るといことが分かったので、また元の生ごみ生活には戻れない。でも2度目からも補助して欲しい。友人にも(大和以外だが)生ごみ処理機は買う価値があることを伝えている。生ごみ処理機に補助金を出してくれる大和市を素晴らしいと思います! ありがとうございます! ※まだ壊れてないので買い替えははしませんが、壊れたら是非補助金を使って購入いたします!
- ・それなりの電気代が掛かりますので、購入時の補助金は、現状維持は嬉しいです。他の自治体では、電気代のことを挙げて、それでもよければ利用してくださいという所もあり、生ごみ削減効果は薄いように思います(大和市の制度はいいです)。
- ・15年20年経過した場合設置年数が長すぎる故に補助できないということがあっては困ると思います。

2. 機器の使用について

- ・ごみの臭いも軽減されて、とても助かっています。
- ・とてもいい。大満足です!
- ・この5年の間に購入したもの全て(洋服、家具、自転車、食料品などあらゆる物)の中で、「買って良かった物」のダントツ No.1 です。この制度を利用しない人がいることがもったいないと思います。もっとPR するべきです。補助制度ありがたいです。
- ・とてもよい制度です。ごみが肥料として使え花をたくさん植えました。今年はナスも植えて育てました。(肥料を捨てるのはもったいないので!)道路を歩く人から喜ばれています。
- ・今までカラスを気にしたり、数日家を空けると生ごみの臭いが気になっていましたが、ごみ処理機のおかげで全く気にしないで過ごせるようになり、大変満足しています。もっと普及しても良いのに…と思っています。毎日使っているので徐々に音が大きくなり、多少臭いも気になり始めました。補助制度が使える時期のようなので、購入の方向で考えていきたいと思っています。
- ・続けて欲しいです。使用することになってから、シンクに生ごみ用のカゴが無くなり、とても清潔です。

令和2年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

発行 大和市

令和3年1月

編集 大和市環境管理センター 収集業務課

〒242-0026 大和市草柳3-12-1

電話 046-269-7343